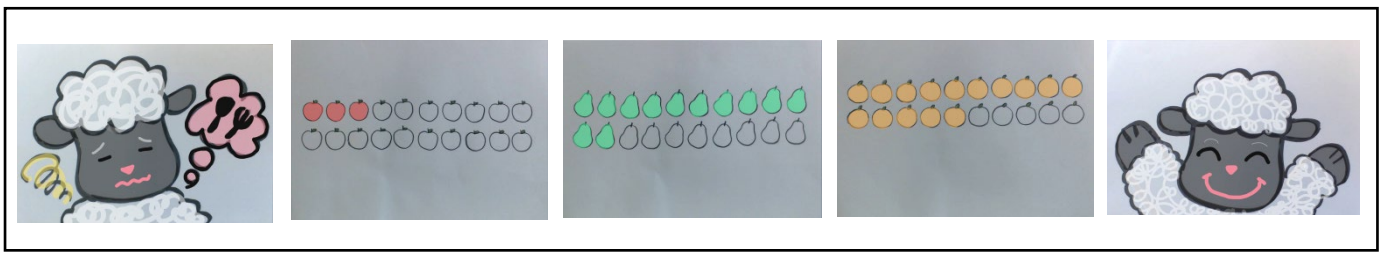
本時版「ICT を活用したまなび」授業実践

教科等	外国語活動	学年	3 年
単元名 (教材名)	Unit 3 How many? (東京書籍 Let's Try! 1)	時	第4時（全4時間）
本時の 目標	・1～20までの数の言い方に慣れ親しむ。【知識及び技能】 ・数について尋ねたり答えたりすることができる。【思考力、判断力、表現力等】		

	学習活動	ICT 活用
1	○ゲームを通して、前時までの復習をする。 ・1～20の数の言い方を確認する。 ・How many～?の表現を確認する。	1【大型提示装置】 スクリーンに ALT のモデル動画を提示する。 1【学習者用端末】（ロイロノート） ペアでかくれた数を当てるゲームをしながらやり取りを行う。
2	○本時の目標を確認する。 ・「デジタル絵本を作って友達と読み合い、数についてやり取りをする。」という目標を確認する。 ・絵本を読む ALT の動画を視聴し、活動に見通しをもつ。	2【大型提示装置】 絵本を読む ALT のモデル動画を提示する。
3	○絵本を作成する。 ・カードに描かれた果物に、1～20のうち好きな数だけ色を塗り、カードをひとまとめにして教師用端末に送る。	3【学習者用端末】（ロイロノート） 配付されたカードに描かれた果物に、好きな数だけ色を塗り、絵本を作る。
4	○絵本を読む練習をする。 ・教師が作成した絵本を使って全員で読む練習をした後、自分の絵本を使って個人で練習をする。	4【大型提示装置】 教師が作った絵本を提示する。 4【学習者用端末】（ロイロノート） 自分が作成した絵本を見ながら、個人練習をする。必要に応じて、ALT のモデル動画を見て確認する。
5	○ペアで絵本を読み合い、数についてやり取りをする。 ・絵本を読んだ後、絵を見せずに、How many～?を使って相手にクイズを出す。 ・2～3回、ペアを替えて行う。	5【学習者用端末】（ロイロノート） 友達に自分が作った絵本を見せて読む。
6	○クラスで共有する。 ・数名の児童が、読み聞かせやクイズをクラス全体の前で行い、フィードバックを行う。	6【大型提示装置】 発表者が作った絵本を提示する。

備　考
○ALTのモデル動画を学習者用端末に送ることで、発音を聞いたり口の動きや身振りを繰り返し確認しながら、学校でも家庭でも自分のペースで何度も練習することができる。 ○学習者用端末を使うことで、絵本の作成を効率よく行い、言語活動を中心にした授業を展開することが可能になる。

原案作成【 香芝市立志都美小学校 】

3【学習者用端末】（ロイロノート）

デジタル絵本（例）